

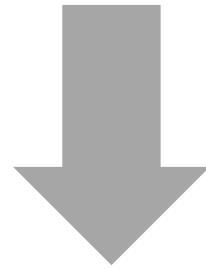
地方共助社会づくり懇親会 in 上越

地域の担い手を どう生み出すか

社会福祉法人 みんなでいきる

理事長 大島 誠

自助・共助・公助



なぜ今 **共助**か？

〈優等生的には〉

- ・国、行政にお金が無い
- ・高齢者世帯が増えている
- ・村部(地方)ほど、人口構成の
バランスが悪い
- ・「毎日少しずつ」と「今急に」
が同居している



自助・公助に限界がある



共助に期待



誰が担い手となるか

- ・ マネジメントする人
- ・ 現場で活躍する人
- ・ 活動資金

地方の本音は…

- ・ これ以上頑張れと言うのか
- ・ 今こそ**公助**が必要
- ・ しばらくは**共助**でしのいでも
その先は？

今、必要なのは

- ・ 都市と地方の格差の是正
(国の政策)
- ・ 地方の戦略的まちづくり
(地方行政)
- ・ 共助による地域づくり

同時に行うこと

共助に何を求めるか？

- 見守り
- 生活支援
- 地域行事等への参加、支援
- マネジメント
- 資金提供
- 産業創造

共助を考える時の エリア・相手は？

- 集落、町内会
- 市町村
- 人と人とのつながり
(出身者等)
- 需要と供給のマッチング
(大手企業)

共助を支える ツボ(必然性)は？

- 縁(生活共同体)
- 情
- ビジネス
- 研究
- 社会的責任

共助を担う人材が不足

- ➔ ①今いる人材を使いまわす
- ➔ ②見えない人材に気づく
- ➔ ③新たな人材を育てる

共助が成立する環境

- 住民の数が一定以上で、
人口構成のバランスが良い
- ご近所付き合いがある
- 町内化をはじめ消防団、青年会、
婦人会、子供会、老人会などが
成立している
- 商店や医院など、生活に必要な
機能がある

①今いる人材を使いまわす

- **地域の組織有体人材の活用**
- **先生、公務員、JA職員、
郵便局職員等の活用**
- **企業、公益法人等と
地域の関係性の強化**
- **企業、NPO等のソーシャル
ビジネス参入への依頼**

②見えない人材に気づく

- 村部から都市部への
移住者(出身者)への呼びかけ
- 首都圏在住者への呼びかけ
- 大学等、研究機関とのコラボ
- 大手企業の社会貢献活動との
コラボ

③ 新たな人材を育てる

- Iターン者を増やす仕掛け
- 交流人口を増やす仕掛け
- 地域と地域のネットワーク
- ふるさと納税等の
新たな資金調達